

# 設立55周年記念会開催！！

## 『未来へGoGo!～これまでの軌跡 これからの奇跡～』

センター  
便り

# 絆

きずな

### 設立55周年記念会を終えて

理事長  
水上雄一郎

## 第172号

発行所

社会福祉法人  
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>  
E-Mail: [nishijinkai@nishijin.org](mailto:nishijinkai@nishijin.org)

〒602-8464  
京都市上京区元誓願寺千本東入ル  
TEL (075) 451 - 8971  
FAX (075) 451 - 5700

発行者: 水上雄一郎  
編集責任: 浅田将之

郵便振替口座  
01030-5-23086

ホームページでも  
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。



阪田吾郎先生講演

あけましておめでとうございます。健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。二〇一八年も皆様にとつて輝かしい年でありますようお祈りいたします。昨年十一月二六日に法人設立五五周年記念会を同志

社大の新島会館で開催いたしました。中山あいさんの前奏で第一部が始まり、浅田将之さんの司会で讚美歌二一の四九三番を歌い旧約聖書イザヤ書四三章十八十九節を朗読していただき、私のあいさつの中でイザヤ書の話をして、阪田吾郎先生の講演に移り草創期のころのお話の中で逝去された方々のお名前が出て懐かしく思い出されました。そのころ料理教室の先生をしてもらった方がお祝いに駆けつけて下さり、五十数年ぶりの再会に感動された方もおられました。当法人理事の平田義先生が次に講演され、新約聖書ヨハネ福音書五章一十三節を用いて愛の行いについてのお話をしてくださいました。後奏をもって第一部



平田義先生講演

は終わりました。第二部は別室で宮崎一弥さんの司会で始まり、西陣会五五周年記念会の看板を製作された菅谷剛達さんを紹介され、西陣織の帯の端切れで貼り絵風につくられた芸術性の高い作品に心打たれました。支える会会長の井上晁さんのご挨拶の後、ご来賓のご紹介がなされました。ご多忙の中お祝いに、京都市障害保健福祉推進室、国会議員、市会議員の方も来て下さいました。スライドショーでは藤本



賛美♪「いつくしみふかき」

昌宏さんの力作で現在の各事業活動の紹介が生き生きと映し出され、良きアピールになりました。六十周年に向けた取り組み報告では進行役の永瀬健太郎さん、パネラーとして赤尾幸雄さん、寺田文さん、小西秀和さんの四名が五つの課題を挙げて語り合ってくださいました。短時間なので十分な説明はできませんでしたが、前向きに真剣に取り組んでいる様子はわかり、頼もしく感じました。

余興で岡本千栄子さん作詞、永瀬健太郎さん作曲の歌がテーマソングとしてストリートミュージシャン風に歌われて楽しいひと時でありました。

感謝状贈呈式では法人としてまた、各事業所が大変お世話になっております多くの方々の中から今回はごく一部の方になりましたが感謝状と花束を贈呈いたしました。感謝しかありません。ありが

## 設立五五周年記念会を終えて

塩田 真里絵

とうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。井上雅治さんの答礼では温かいお言葉をいただき恐縮いたしました。

記念会実行委員長の塩田真里絵さんからの開催できたお礼の言葉で無事閉会いたしました。最後に浅田将之さんより塩田さんが寿を迎えられた旨披露され、一同お慶びの拍手でお祝いたしました。

昨年11月26日、新島会館にて西陣会設立55周年記念会を開催いたしました。お忙しい中にも関わらず、第一部102名、第二部96名と多くの方々にご参加いただきありがとうございました。

記念講演では、阪田吾郎先生からは、決して資料だけではわからない、設立当時の「鮮明な」お話しを聴くことができました。

平田義理事からは、60周年を迎えるにあたり、法人として目指すべき信念について激励のお言葉をいただきました。

今回、約1年前より実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。実行委員長が務まるだろうかと不安も多かったのですが、水上理事長をはじめ実行委員の方々に支えられ、当日を迎えることができました。至らない点も多々あったと思いますが、会場では沢山の温かいお言葉をいただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、5年後の60周年でも皆さまの笑顔とお会いできますよう、皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。



熱唱!! 西陣会 55周年記念 西陣会テーマソング



心からの感謝を込めて…  
花束贈呈式



井上雅治さんあいさつ



阪田先生を囲んで



支える会会長 井上晃さんあいさつ

# 地域生活支援ニュース

西陣会居宅サービス係

## ご利用者と地域のつながり

主任 近藤 隆平

西陣会居宅サービス係は、上京区障害児者生活支援連絡会(通称上京連)に参画しています。上京連というのは、上京区社協が事務局を担い、上京区にある福祉サービス事業所、総合支援学校、支援センター、保健福祉センターなど数々の地域にある福祉が集まる会です。11月21日(火)に定例会がありました。テーマは「就業定着ケースの事例発表」という内容で近藤が担当させていただきました。

このテーマを依頼された際すぐに一人の利用者かと思ひ浮かびました。もともと就労継続支援B型の施設でお仕事をされていた人ですが、介護職員初任者研修を受けられ、そこで紹介された介護施設に2016年4月から働かれています。絶好の人がいると思ひ、ご本人に事例を発表させていただくこと、上京連でお話していただくことをお願

いさせていたただいたところ快諾いただけました。内容を一緒に詰めたり書類を作成し迎えた当日、プロフィール紹介や週間予定の説明、お仕事をされている中でのエピソードや周りのフォロー体制などインタビュー形式でしました。ご本人は初めは緊張されていましたが、後半はこちらで用意していない質問の回答も自信を持って答えておられたり、上京連が終わった後も清々しい表情で関わる支援者に報告されていました。一緒に報告を行うことで得られた関わりや、仕事のやりがいや苦労、努力など知ってもらえる機会、社会参加の場、障がいのある人の就業のモデルになったり、自分たちが関わる人が別の障がいのある人の支えになる。そんな地域のつながりを感じた機会でした。

## デイセンターから

### 希望をききたい!

ユニットリーダー 大富 葉奈美

月一回のデイ全体で行う行事では、普段ユニットに分かれて活動していただいている利用者さんや職員が一緒になって同じ活動に参加します。海水浴や果物狩り、BBQや書初めなどなど……普段の活動とは一味違った、様々な経験を一緒にさせていただく機会となっています。

そんな行事、11月は、『京都大学の学園祭に行こう!』というものでした。学園祭に行き、模擬店で昼食を食べて遊んで帰るという予定



集団活動企画 コスモス園

になっていました。まずはどんな模擬店があるのか調べ、準備しなければとパンフレットを見ると、模擬店の数120!! 昼食を食べるにも、お店を見て回り、どれがいいか選ぶことも難しくなる店舗数でした。当日、現地で食べ物の希望を伺い、選んでいただくと、は難しいかもしれないけれど、出発前に落ち着いた環境の中であれば……と思い、模擬店にある食べ物を全てリストアップすることにしました。文字を読める方は文字のリスト、文字は読めないけれど写真なら理解できるとい方には写真のリストを作成しました。同じ物を買っている店舗も数多くありましたが、リストアップした食べ物50以上。それでも、選ばれるか選ばれないかをこちらが決めてしまわないで全てお伝えすることに意味があると思ひ、全ての食べ物を紹介しました。ずらりと並べられた中から選び取る難しさはありました。デイふらでの落



学園祭へ行こう!

ち着いた環境の中で行ったことによりご本人の希望を伺うことができ、食べたいと思われた物を食べていただくことができました。また、文字も写真も難しい、これがいいと支援者に伝えてくださることも積極的にはされないという方もおられます。ですが、他の方が食べておられる物を見られ『これがいいな』というように手を伸ばされる……グループ行動だからこそというところもありました。選択していただく方法を工夫すること、環境の強みを活かすことにより、利用者さんが希望を伝えてくださる瞬間を見逃さず実現できることで、さらに利用者さんが希望を伝えてくださることに繋がると思っています。

西陣会ホームとなり

# 夜勤という仕事

生活支援員 湯川力樹

今年度十月より西陣会ホームとなりにて毎週月曜日に夜勤(二十一時半～翌九時半)をしております湯川と申します。どうぞよろしくお願いたします。

夜勤業務の開始時間にはほとんどの入居者が就寝されており、お一人起きておられる方も二十二時過ぎには消灯されます。皆様は眠られてからの時間では、翌日の入居者のご用意や朝食の下拵え等をしております。二十三時以降はトイレに起きてこられる方々の見守りや対応をしています。

夜勤の仮眠時間が終わる五時台は皆様眠られておられ、朝の世話人の方が来られてからは起床のお声かけや朝食の準備・提供を順次させていただきます。朝は眠気がまだおありの方もおられ、ゆっくりと歯磨きや整容(洗顔や髭剃り等)済まされ居室や和室にて休憩をされています。九時には出発していかれ、皆様が出て行かれてからは、清掃と夕方の方の準備をして勤務を終えます。

夜勤業務の中で特に大切だと感じていることは、朝に入居者が起床されてから

出発されるまでの時間の過ごされ方です。私たちは一日活動する上で、起床して出かけるまでの過ごし方でその日一日が決まると思います。目が覚めた瞬間の眠気の強弱・夢の有無・心身の状態、朝食のメニューや洗顔時の爽快感、家を出るまでの間の過ごし方で私たちは一日を過ごす心構えをしていきます。「今日は出たくないな」、「なんだか頑張れそうだな気がする」など様々な思いを持ちながら、家を出て行きます。入居者の中には言葉でのやり取りが難しい方もおられ、ご本人がどういう心境なのかを考え予測しながら送り出しをしていきます。ただ朝ご飯を提供し身支度を整えてといった日々には、必ず空虚感を伴うと考えています。入居者が考えておられる事のすべてを理解・共感することは難しいことです。しかし、私たちは皆様の日々のご様子を観察させて頂き、そこから推測をしていくことができます。

入居者の皆様が毎日をより楽しく過ごせますように、これからも努めていきます。

MY MOTHERS

# 「MY MOTHERS旅行」に参加して

高田 和幸

じりじりと暑さの残る9月の終わり、ご利用者14名、職員や西陣会に関わって下さっているボランティアの方15名の総勢29名でMY MOTHERS企画「淡路島と鳴門の渦潮 温泉まつり旅行」に行ってきました。

旅行では船に乗って渦潮を見たり、豪華な料理を食べたり、宴会をしたり、イングラントの丘で色々な動物を見たりと楽しい時間を一緒に過ごさせて頂きました。

色々な行事や旅行に参加させて頂いて、普段見ることのない新しい姿に出会えるのが私の中では一つの楽しみになっています。

淡路島の旅行でも新しい姿にはたくさん出会える事ができました。数えきれないほどの出会いはありましたが、中でも船に乗って渦潮を見るところでは色々な様子を見る事ができ、印象強く残っています。

デッキから渦潮を笑いながら見られる姿、海の風を感じて穏やかな表情をされている姿、カメラを持って渦潮の写真を撮られる姿

デッキには来られず客室のイスに座って顔がこぼばつておられるなどの姿がありました。

日常生活とは違う旅行のような非日常的な生活には楽しみがある反面で不安もあるのかなと思います。それは障がいがあるなしに関係なく、誰もが感じている事でしょう。

ご利用者の方々の「こんな事、あんな事がしたい」という思いをしっかりと感じ取り形としていく事、一緒に楽しんで「旅行、楽しかった。また、行きたいな」と思ってもらえるようにという思いが大切なのではないでしょうか。

この旅行については、普段なかなか行けない泊まりの旅行に行ってみたい、温泉や宴会も楽しみたいというご意見を何気ない一言やMY



釣れた時の引きはやみつきになります！



旅行の宴会カラオケは大盛り上がり♪

MOTHERS合コン(飲み会)などの場面からお聞きしたものを形にするべく企画させていただきました。日々の生活や活動では実現しに

くいことを自分たちの意見を元に具体化できるMY MOTHERSのワガママな活動を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

支援センター「きょうリンク」

より良い地域づくりを目指して

相談員 佐藤 匡

これまでにも北部圏域の障害者地域自立支援協議会の取り組みを紹介してまいりましたが、京都市の自立支援協議会は15の支援センターが5圏域に分かれて活動を行っています。

改めてその活動内容は、援助困難事案等に対する個別支援としての「支援会議」、地域における障害保健福祉に関する情報の収集や普及啓発、障害者支援ネットワーク構築としての「全体会議」や地域懇談会」があり、これらの機会を通して把握された地域ニーズや支援課題を京都市の障害者施策に反映させるための役割があります。この支援課題について北部圏域からこれまでに、障がい理由に連帯保証人の確保が困難なため好きな所に住めないこと、日中通所施設が不足しており施設

類型と障がい特性との間でミスマッチングが起きていること等の他、災害時における避難所に関する課題についても改善策と合わせて京都市に課題提起してまいりました。このように各圏域から上がってきた多くの課題について現在15の支援センターでは、圏域を超えて共通する項目で分類し、プロジェクトチームを組み、課題が生じた要因・背景を探りながら、解決に向けて具体的なアイデアを検討しています。

これまでに京都市に集まってきた課題について、しっかりと市の施策に反映されるようこのプロジェクトチームで形作り、また機能していけるようにするためここが踏ん張りどころと捉え、取り組んでいます。

支援センター「こころ」

沖縄戦平和研修に参加して

センター長 宇川 征宏

何気なく、子どもと空を見上げ、飛行機が飛んでいると、「飛行機だね、何処に行くんだらう?」、「お父さん最近、飛行機にいつ乗ったの?」と話が続く。

沖縄では何気なく空を見上げずとも、身体が震えるような轟音が鳴り響くことで、ヘリや戦闘機が上空を舞っていることが分かる。それを踏まえた親子の会話は一体どのようなものになるだろうか? 「どこに行くの?」「なんのために、なんの練習をしているの?」等だろうか、それとももつと込み入った話になるのだろうか。

沖縄は大好きで、海も食べ物も飲み物も人達も惹かれる部分が沢山ある。ただ、沖縄の置かれている現状が、どこまで正しく伝わっているかと疑問に思う。沖縄の状況を正しく報じているようなマスコミはほぼなく、偏り、歪曲し、遠い地で起きている少し風変わりな出来事として受け止めさせ、人々が関心を寄せることを妨害

しようとしているようにさえ思う。

今年も同業の仲間達と『反戦平和研修』で沖縄を訪れた。いつもの仲間達が当たり前のように笑顔で、迎え入れてくれた。ただ、仲間の多くが、自分の時間やお金を費やしなから、今の沖縄の現状に真剣に向き合い闘っている。自分達のためだけにではなく、これから生きていく子ども達のために闘っている。

平和研修に参加するまで、私は、沖縄の人達が置かれている本土では考え難い日常を知らなかったし、知る機会を持つとうとしなかった。話を聞き、少し学びだすと、疑問を持つようになった。これは正しいことなのだろうか? と。

自分が許せない(受け入れられない)ことを他人の身の上で起こることだからと、許すことは私には難しい。このことは、日々の関わりにおいてもそうだと思う。相手の置かれている状況を鑑み、その中で、出来ることをしていく。何も変わらない。気づいたこと、気になることを放置することは出来ない。

一人でも多くの方に、考えて頂けるような機会を持ってもらえるように、働きかけていきたい。沖縄の問題は、私達の問題として、考え、動き続けていくために。



フェンス越しの米軍基地

# 路地震ステーションニュース

## 西陣児童館

### ピーポがむすぶ絆

ボランティアリーダー 村上 祐樹

1977年に誕生したピーポ。人と人との繋がりが絆をむすび、昨年で40周年を迎えました。このことを皆様と喜び合いたいのですが、寂しいお知らせがございます。

4年前、京都市内にも放課後等デイサービスなどの社会資源が整い始めた頃、ピーポは、「メンバーやボランティアが集まりにくい」という深刻な問題を抱えており、解散の危機でした。話し合いの末、活動の回数を減らし、OB OGボラの方々や児童館職員さんにも活動に参加して頂くことで、活動を続けていくことができたのです。

そして、2017年度に入り、再び今後のピーポについて話し合いをしました。メンバーや親御さん、ボラの今後の環境の変化を考慮した際、来年度以降、ピーポの活動を続けていくことは難しいとの結論に至りました。なにもないところから始まり、メンバーを真ん中にして親・ボラと一緒に

悩み、考え、必死につくってきたこのピーポを本当に終わらせてもいいのかと何度も葛藤し、悩みに悩みました。しかし、私たちは、40年間もこの場所で大くさんの絆をむすんできたピーポに「今までありがとう」という気持ちで、ピーポ自体のテイクオフを行うことに致しました。

この大きな決断をして以降、私たちは改めてピーポの魅力について考えました。親御さんとボラがメンバーの事を真剣に本音で話し合う、あの人間味のある時間。そして、あの温かいアットホームさ。活動の時にあった楽しかったこともしんどかったことも、「すべてがピーポの魅力なんだ」と感じていきます。そんなピーポとの出会いが人生を変えたという方も沢山おられることでしょうか。私もその一人です。

ピーポとして活動できる時間は少なくなってきました。私たちは、これまで以上にメンバーや親御さん、

同じボラ仲間と本音で話し合い、みんなに出会えたことと、一緒に活動できたことに感謝し、残りみんなといたい時間を大切にしていきたいです。私たちは3月いっ

ばいまでピーポの活動をするので、お時間のある方はぜひ遊びに来て下さい。最後に、ピーポの40周年・テイクオフに当たり式典を3月に開催致します。詳細

は別紙をご覧下さい。ピーポの40年の歩み・思い出をみんな語り合います。当日、皆様にお会いできることを心よりお待ちしております。

## 「ういず」は「ういず」な「ういず」な「ういず」

高部 あゆみ

9月10日(日)、気持ちの良い秋晴れの中、タイムケア事業「ういず」の10周年記念会を無事開催する事が出来ました。

会場である紫野小学校の「ういず」教室に約100名の方々がご来場して下さい、会場内は、当時の事から近況まで様々な話題を親御さん同士が輪になって語り合う姿、立派な大人となった元利用者の皆さんとボランティアや、スタッフが遊ぶ姿で埋め尽くされていま

した。それは、「ういず」が「ういず」らしく一日一日を丁寧に積み重ねてきたからこそ見えた光景だったと思います。

数年前から、放課後等デイサービス事業を中心に、障がいのある子ども達も放課後を過ごす場所が選べる時代となりました。その中で、タイムケア事業の価値

や魅力は何なのかという事が、改めて問われています。「ういず」の魅力とは……？一人ひとりが愛され大切にされてい

る、という大きな土台が「ういず」には、あります。その上で、子ども達はもちろんボランティアやスタッフも、のびのびと個性を出し、光ることが出来る場所である事は確かです。多くの人がちと出会い、手をとって、この10年間で、そんなお互いの個性があう場所を築



10年間見守り続けてくれた皆様に感謝！



# 活動日誌

## 【本部業務・公益事業】

### 10月

2日 ステップアップ研修②部会  
8日 嘉楽学区民運動会・衣笠学区民運動会  
16日 人材育成検討委員会  
月曜集会  
震災支援物品販売(めぐみ本100円商店街)  
22日 産業医面接相談会  
23日 ステップアップ研修①振り返り  
25日 レクリエーション委員会  
30日 55周年記念企画実行委員会  
月曜集会

### 12月

3日 評議員会  
西陣会交流忘年会(レクリエーション)

## 【西陣児童館】

### 10月

4日・11日 京都府放課後児童支援員認定資格研修(藤原)  
7日 支援ステーション事業「嘉楽パンダクラブ合同運動会」  
21日 支援ステーション事業「おもいパーティー」  
28日 京都やんちゃフェスタ2017に参加

### 11月

18日 草木染in指月林  
25日 出前児童館(焼き芋)  
26日 上京の子どもまつり(松井)  
28日 12月4日 第一ブロック職員交換派遣研修(藤原)

### 12月

7日 支援ステーション事業「おひさまルーム合同クリスマス会」  
20日 京都市児童館第一ブロック交流反省会(中山・鬼塚・高部・松井)  
25日 学童クリスマス会  
26日 ピーボクリスマス

## 【居宅サービス係】

1日・15日・29日 集団活動企画コスモス園

### 11月

6日・7日・8日 強度行動障害支援者養成研修(ヘルパー2名)  
9日 サービス提供責任者会議  
12日 居宅職員会議  
18日 ヘルパー研修会「行動援護対象者の支援について」  
21日 上京区障害児者生活支援連絡会(近藤)  
22日 サービス提供責任者会議  
24日 居宅介護等事業連絡協議会定例会「介護技術研修(浅田・永瀬)」

### 12月

3日・17日・24日 集団活動企画クリスマス会  
5日 京都市虐待防止研修(近藤)  
10日 居宅職員会議  
19日 ほほえみネットワークサミット  
21日 サービス提供責任者会議

## 【デイセンターふらっと】

3日・5日 強度行動障害支援者養成研修(3名)  
19日 全体行事・フルーツ白玉作り  
27日 見学者1名(北総合支援学校)

### 11月

6日・8日 強度行動障害支援者養成研修(2名)  
11日 上京老人デイわわわ

### 12月

5日 京都市虐待防止研修(高田)  
11日 あっぷっぷクリスマス会お手伝い  
13日 家族会役員会  
21日 全体行事・クリスマススカラオケ  
12月29日・1月3日 冬季休業日

### 10月

6日 北部自立支援協議会運営会議  
16日 市社協日常生活自立支援事業審査会  
18日 基幹支援センター会議  
22日 障害のある人と支援者のパソコン応用講座(29日・11月3日)  
28日 重度障害者意思伝達装置説明会(福知山)

### 11月

6日 支援センター障害者虐待に関する業務研修  
13日 左京介護事業者連絡会  
18日 重度障害者意思伝達装置説明会(京都テルサ)  
27日 左京こころのふれあいネットワーク市民向け全体セミナー  
28日 左京こころのふれあいネットワークワーキング会議

### 12月

18日 北区こころのキャンパスネットワークショップ  
北部自立支援協議会

## 【こじん】

28日 地域懇談会  
障害支援区分審査会  
2日 相談支援専門員スキルアップ研修  
4日・5日 強度行動障害研修講師派遣  
12日 バザールカフェ未来構想委員会  
14日 育成会講演会講師派遣  
19日 相談支援専門員カフェ  
20日 権利擁護ネットワーク

### 11月

1日 中部自立支援協議会  
医療的ケア専門部会  
14日 京都市支援センター会議  
15日 基幹支援センター会議  
27日 京都市自立支援協議会  
児童専門部会

### 12月

1日・2日 熊本県視察  
6日 同志社大学講師派遣  
21日 中部自立支援協議会  
運営会議  
24日 介護職員初任者研修講師派遣

※毎月、施設長会議・財務会議・主任会議を実施しています。  
その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っています。

地域における公益的な取り組み

嘉楽学区総合防災訓練

京都市民福祉センター 館長 浅田 将之

「11月19日(日)午前9時00分花折断層を震源とするM7.0の地震が発生し、上京区内で震度6強を観測、嘉楽学区において家屋の倒壊や火災が発生」との想定で防災訓練(避難所運営訓練)が実施されました。

学区内にある「西陣会ホームとなり」で暮らしておられる3名の知的障がいのある人、「シェアハウス小松原の家」で暮らしておられる方で学区内の実家から1名、それぞれヘルパーと一緒に避難所である嘉楽中学校体育館まで移動され、学区自主防災会の方をはじめ地域住民の方と一緒に、あるいは本人のペースや距離感を考慮しながら誘導して行動しました。

センター往来

三角巾の使い方、簡易担架の取り扱い等の救護訓練のほか、仮設トイレの組み立て方、非常食の配布訓練等を学びました。

当法人職員から消防団員3名も参加しており、地域の防災意識、災害対応能力の向上に協力しています。起きてはいけない災害ですが、万が一の想定をしておくことは大切なことです。また地域住民の中にはいろ

◎9月24日(日) 評議員の喜多泰弘様の「瑞宝単光章」受章祝賀会に浅田常務理事が参加させていただきました。おめでとうございます。益々のご活躍を祈念いたします。

◎10月8日(日) 嘉楽学区区民体育祭に「市民福祉センター」チーム・「西亀屋町」チームでご利用者さんボランティアさんと参加させて頂きました。一丸となり、協力しながら競技に参加しました。地域の皆様のご声援、楽しい一日をありがとうございました。

が衣笠学区民運動会に参加しました。皆様との交流を深めながら競技に参加させていただきます。ありがとうございました。



男子リレー初の準優勝にカンパイ!

◎11月10日(金) 小松原北町南部町内有志で衣笠学区運動会男子リレー準優勝の慰労会兼住民懇親会が行われ、浅田、本林、森、湯川が参加し、楽しく有意義な時間を過ごしました。

◎11月12日(日) 第23回「胸ドキドキ出会いの瞬間! キックベース大会」を、嘉楽中学校、嘉楽社会福祉協議会と協働して実施させて頂いたいただきました。総勢40名ほどが参加し、交流を深めることができました。

◎今年も、京都めいぶるワイズメンズクラブからじゃがいも・かぼちゃの販売ご案内をいただきました。皆様にはたくさん

お祝い

◎結婚、ご出産、ご誕生 おめでとございます。

◎11月19日(日) 結婚 支援センターきらりリンク 職員の塩田真里絵さん。

◎11月9日(木) 女の子ご誕生 居宅サービス係職員の尾崎暢俊さん

◎11月13日(月) 女の子ご出産 居宅サービス係職員の山口早蓉子さん

◎12月8日(金) 女の子ご誕生 児童館職員の鬼塚義正さん

職員人事(常勤職員)

入職 デイセンターふらっと 山口 弘美 (17年11月13日)

長崎伊久美 (17年12月11日)

退職 法人本部 鳥居 利夫 (17年9月30日付)

デイセンターふらっと 佐内 彩華 (17年10月31日付)

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075) 451-5700迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

法人本部

京都市民福祉センター

地域活動支援センター

ふらっと

地域生活支援事業

レスパイトサービス

〒六〇二-八四六四

京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四三〇番地二

TEL 〇七五 四五一八七七一

FAX 〇七五 四五二一五七〇〇

西陣児童館

京都市障害のある中高生の

タイムケア事業 ういず

TEL 〇七五 四五二一八七九二

FAX 〇七五 四五二一五七〇〇

西陣会居宅サービス係

〒六〇二-八四六四

京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四三〇番地三

TEL 〇七五 四五二一八七九二

FAX 〇七五 四五二一五七〇〇

デイセンターふらっと

TEL 〇七五 四一七三三二二

FAX 〇七五 四四一五二九二

京都市中部障害者地域生活

支援センターにしじん

〒六〇二-八二一六

京都市上京区西堀川通元誓願寺

上ル堅門前町四一四

TEL 〇七五 四一七一六三〇

FAX 〇七五 四五二一三六一九

西陣産業会館1F

京都市北部障害者地域生活

支援センターきらりリンク

〒六〇六-八四一六

京都市左京区浄土寺上馬場町二七一

フアライースト白川通一階中

TEL 〇七五 七五二一〇〇六

FAX 〇七五 七五二一〇〇七

西陣会ホームとなり

シヨートステイ ゆう

〒六〇二-八四六四

京都市上京区元誓願寺通り千本

東入る元四丁目四二四番地一

TEL 〇七五 四六八一三〇六八

FAX 〇七五 四四二一五三九一